

令和8年度 亀山南まちづくり協議会 事業計画書

1 今年度の目標

・児童生徒の学びの環境支援・環境整備を進める。
・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域課題の整理研究を進めるとともに、多世代交流の取り組みを支援する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	児童生徒の学びの環境支援・整備事業	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	亀山南学区 各所	
(3) 参加者数	活動参加 50人(見込み) 対象:小中学校生徒 650名	
(4) 主催団体	団体名 亀山南まちづくり協議会	
4 取組内容	・登下校安全対策:小学校1年生にクマよけの鈴配布、啓発グッズ配布、スタッフ防寒対策他 ・花いっぱい活動:学校花壇の整備、植栽管理 ・お祝い活動:入学式、卒業式等でのお祝いの飾りつけ	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 交通量の増加や、熊等の危険害獣の出没により通学路の危険性が増加しており、児童生徒の安全確保のため、各種の取り組みを実施する。 また、PTAや子ども会育成協議会が解散しているため、通学路の美化や入学・卒業時のお祝いについて、地域の有志により取組む。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) まずは、子どもたちの安全確保を最重要課題として取組んで行きたい。さらに通学路の美化や、入学式等での取り組みにより、児童生徒の地域への愛着や美化意識の向上が図られることに期待している。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域資源保全対策支援事業	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区全域	
(3) 参加者数	50 団体（見込み）※準構成員を含む	
(4) 主催団体	団体名 亀山南まちづくり協議会	
4 取組内容	・学区内の地域資源の草刈りや維持補修等の管理体制を構築する。 【対象】学校関連：学校花壇、ほのぼの動物園、童話の森 地域資源：ころげ観音、抱き岩地蔵、螺山登山道等 【経費】軽トラリース、資材費他	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 役員の高齢化により、学校等における地域資源の維持・管理体制が十分ではなく、地域の魅力不足につながっているため、新たな担い手団体である「かめみなCLUB」など住民等の多様な主体の参加による管理を進める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域資源の保全対策とともに、資源の共有促進に合わせ、新たな担い手団体である「かめみなCLUB」など多様な主体の参画により、魅力あふれる新たなコミュニティの形成に期待する。なお、本事業により配備した機器については、別事業においても活用し、上記効果の発現を目指す。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	多世代型防災体制強化事業	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	亀山南学区 各所	
(3) 参加者数	300人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 亀山南まちづくり協議会、亀山南学区自主防災会連合会	
4 取組内容	多世代型防災体制強化事業 ・多世代向けデジタル防災情報：ドローン等のデジタル技術を活用した防災啓発 ・多世代防災体験会：防災訓練に併催し体験プログラムの提供 ・小学生の防災マップ活用：小学生が製作する防災マップの作製支援や活用 ・多様なニーズにこたえる避難所運営支援：多様な避難者が安心して過ごせる避難所検討	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 土砂災害特別警戒区域が多数存在する当学区であるが、役員の高齢化や自治隊加入の低下等により自主防災活動の強化が喫緊の課題となっている。とりわけ若年層の防災意識の啓発が求められており、防災士ネットワークとの連携により、 ・デジタル画像の防災活用や ・体験プログラム ・児童生徒の防災学習支援等 を実施することにより、防災意識の醸成を目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） これまでの防災訓練等では、とりわけ若年層へのアプローチができていなかったが、様々な形での取り組みにより、多世代での防災意識の向上に期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	誰もが安心して暮らせる地域づくり事業	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	亀山南学区 各所	
(3) 参加者数	活動参加 300 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 亀山南まちづくり協議会	
4 取組内容	・地域課題調査検討事業 福祉や地域経営に精通したコンサルタントの指導により、住民が参画して課題の調査や把握を行い、今後の地域経営の方向性を探る。 ・笑顔のかけはしプロジェクト 認知症カフェの活動を拡大し、音楽や健康学習等を通じて多世代、多様な参加の交流を促進する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 高齢化、人口減少等々、さまざまな課題が山積しており、これらの解決のために住民が何をすべきか、何ができるのかを住民自らが参画して調査し、今後のまちづくりの方向性を探る。 担い手不足により、認知症カフェやいきいきサロンの運営が困難な状況となっており、自治会連携や、交流の多様化によりネットワークづくりを進める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域資源の発掘にも取り組み、地域の強みを活かして、無理なく楽しく活動できる方向性の創造を目指す。また、この取り組みにより新たな担い手が生まれることを期待する。 音楽を活用した取り組みにより、新たな交流や担い手の創造に期待する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	イベント開催支援事業	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日	
(2) 実施場所	学区内イベント会場等	
(3) 参加者数	50 団体（見込み）【イベント参加者 3,000人】	
(4) 主催団体	団体名 亀山南まちづくり協議会	
4 取組内容	・機材整備：ポップコーン・幟：イベント啓発 ・イベント支援（エルモオープニング、病院祭り、祝着駅マルシェ、虹山祭ほか） 各イベントの取り組みを支援し、地域の活性化や担い手の創造を目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 少子高齢化に伴い、イベント参加者が減少していく中、本事業を実施することにより、イベントの開催を支援することにより、既存イベントの活性化による交流促進や新たなイベント創出を図り、地域の魅力を向上させる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 継続が危ぶまれていた恒例行事等の既存のイベントでも、新たなチャレンジが可能となり、自治会の連携や多様な参加等、新たなコミュニティが創造されることに加え、参加者が新たな担い手として育っていくことが期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	情報発信事業	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)~(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	亀山南まちづくり協議会事務局	
(3) 参加者数	30 団体（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 亀山南まちづくり協議会	
4 取組内容	地域内で行われるイベントや各構成団体の活動内容について、ホームページやSNS等を活用し、地域内外に効果的に情報を発信していくための体制を構築する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 今後、地域コミュニティを維持していく上で、多様な主体が参加することが不可欠であり、そのためには、様々な発信方法により広く周知することが重要であることから、各種デジタル技術の活用により、地域住民全体への情報の伝達を確実なものとし、コミュニティの拡大を目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 回覧板が回らない自治会不参加家庭に、防災をはじめとした地域情報を提供する大きな使命を実現するとともに、地域団体や企業等の多様な主体と連携しながら情報発信を行うことにより、地域全体の魅力アップを発現していきたい。	

3 自主財源で実施した事業

特になし